

平成9(1997)年度情報知識学会研究報告会・総会  
プログラム

インターネット環境の進展で変貌する情報の生産・流通  
— 情報知識学からの接近 —

1997年5月24日(土) 9:45~16:35 凸版印刷本社1階ホール

9:45~10:30 総会

《研究発表》

10:30~12:10 A会場

《Ⅰ デジタル・コンテンツの流通・利用技術》

座長:藤代一成(お茶の水大学)

インターネット上の医学知識とのダイナミックな統合  
を目指した電子内科教科書の開発:美代賢吾、大  
江和彦(東京大学)、梶野正幸(中山書店)

インターネットにおけるプッシュ・テクノロジーの現状  
と問題点:平田 周(慶応大学)

行政情報の標準化に対する調査研究:池田聡史  
(通商産業省)

SGMLによる学術雑誌の編集・印刷と全文データ  
ベースの同時作成 — 『情報管理』誌の事例:森田  
歌子、鈴木政彦(科学技術振興事業団)、千葉吉一  
(富士通ラーニングメディア)

12:10~13:10 昼食

13:10~14:10 《特別講演》

細野公男(慶応大学)

「インターネット環境で変貌する情報の生産・流通」

司会:根岸正光(学術情報センター)

14:10~14:30 休憩

10:30~12:10 B会場

《Ⅱ 情報知識の構造解析》

座長:後藤智範(神奈川大学)

遺伝的アルゴリズムによる経路設計の試み:伊藤照  
明(徳島大学)

遺伝子配置順序データベースの作成と色素体ゲノ  
ムの進化への応用:国沢 隆(東京理科大学)、  
David Sankoff (Universite de Montreal)

古典籍原本を使用した系図情報データベース形成  
の試み:相田 満(国文学研究資料館)

否定的定義による語の意味 — 古代インドの言語  
論(アポーハ論)を手がかりとして:上田 昇(文教大  
学)

## 《研究発表》

14:30~16:10 A会場

《Ⅲ ネットワーク環境での情報知識共有》

座長:石塚英弘(図書館情報大学)

学会の組織編集機能の一考察 — 光ファイバ通信  
技術開発の事例から:野須 潔(NTT)

広帯域ネットワークを利用した遠隔研究協力実験:  
愛宕隆治、館山 純(科学技術振興事業団)

ポストゲノム生物学における広帯域ネットワークの利  
用:宮崎 智、菅原秀明(国立遺伝学研究所)

材料分野の遠隔実験による広帯域ネットワークの利  
用:藤田充苗、横川忠晴(金属材料技術研究所)

14:30~15:45 B会場

《Ⅳ データベースとビブリオメトリックス》

座長:根岸正光(学術情報センター)

引用関係を応用した主題書誌拡張の試み —  
IBSS と SSCI に基づいて:手塚敬子(東京工業大  
学)、松井幸子(図書館情報大学)、岸田和明(駿河  
台大学)

Quality Filterとしての医学文献データベースの発  
展:山崎茂明(東京慈恵会医科大学)

論文数統計による研究水準の国際比較 — 対応  
分析手法を使ったデータ内部構造析出の試み:孫  
媛、根岸正光(学術情報センター)

15:45~16:35 B会場

《Ⅴ 情報の可視化とマルチメディア》

座長:根岸正光(学術情報センター)

ビジュアル・シュミレーションの効用と今後の課題:岩  
淵幸雄(都築学園)、小泉幸一(リアルタイム・グラフ  
ィックス)

教育用ドライビング・シュミレータに対するマルチメデ  
ィアの応用と今後の課題:三品 誠(タスクネット)